



変動する市場に対応するために： 「明確さ」が新たな価値となる理由

変動が激しい世界市場において、「明確さ」は、新たな価値を持っています。信頼性の高いデータ、高度な分析、そしてリアルタイムの可視性を統合できる財務担当者が、断片的かつ手作業のシステムに依存する担当者よりも優れた成果を上げられるのはなぜか。その理由をブルームバーグのChintan Shahが説明します。

財務担当者の中心的な役割はリスク管理ですが、近年は為替、コモディティ、金利リスクからオペレーショナルリスク、地政学的リスク、サイバーリスクまで、ますます幅広いリスクへの対応が求められています。

これらのリスクは複雑かつ多面的な形で相互に影響し合う可能性があります。ブルームバーグのバイサイド・トレジャリー、ALMおよびファイナンス部門のグローバル責任者、Chintan Shahはこう述べています。「今日の市場は、地政学的リスクとシステミックリスクが複雑に重なり合い、為替、金利、コモディティ市場に大きな変動をもたらす可能性があります」

ここ数カ月間に示されている通り、貿易摩擦や急速に変化する関税制度は、為替レートの変動を高める要因となっています。イングランド銀行の2025年の報告書によると、「米国の関税ショックに対する為替相場の反応は、報復措置の有無によって体系的に異なり、関税が一方向的に課された場合には米ドルは上昇する一方、相手国が報復措置を講じた場合には下落する」とされています。

同時に、ソブリン債務の水準は上昇し続け、IMFの予測によると、世界の公的債務は2029年までに国内総生産（GDP）の100%を超える見通しとなっています。加えて、今日の市場環境は、複雑化したジャスト・イン・タイムのサプライチェーンといった産業上の変化だけでなく、資産運用会社や資産所有者が保有する運用資産（AUM）が過去最高水準に達するなど、さまざまな要因の影響を受けています。

相場変動による影響の緩和

相場変動は、もともと限られている利益率に急激な影響を与える可能性があり、企業の財務担当者にとって、特に相場変動の激しい局面では、現金と収益を守ることがこれまで以上に重要となってきます。しかし、リスク軽減のために長年にわたり採用してきた手法には、多くの課題があります。

Shahは次のように述べています。「ほとんどの財務担当者にとって、為替が最も重要なリスクとなる傾向があります。事業活動や分散投資されたポートフォリオから複数の通貨でキャッシュが生じるためです。市場の変動と相まって、資金調達や本国送金に関するリスクは、引き続き財務担当者の大きな懸念要因となっています」

従来手法の欠点

これらのリスクに対処するにあたり、多くの財務担当者は、1〜3カ月ごとにロールする為替フォワードや、コモディティおよび金利先物といった従来の手法を引き続き用いています。

しかし、Shahが指摘するように、これらの戦略はロールオーバーのたびにリターンが目減りするため、継続的な「マーケット・スリッページ」が生じます。「ロールオーバー・ポリシーは長期エクスポージャーを真にヘッジするのではなく、為替の影響を先延ばしするだけなので、時間の経過とともにリターンが低下し、企業の利益率に影響を与えます」

Shahはこの問題に対処するには、より高度なヘッジ手法が有効だと考えています。例えば、為替のキャッシュフローをスワップ契約にマッチングするクロス通貨スワップなどです。

「このようなアプローチは、保険会社や資産所有者、多くの資源採掘に特化した企業などの財務部門にとって特に有効」と指摘し、さらに「プロセスやツールが整い、この手法でのヘッジが可能となれば」金利リスクと為替リスクを一体的に管理できると述べています。

従来手法の他の課題として、データの断片化、スプレッドシートを介した手作業の連携、データの再入力に伴うオペレーショナル・リスクなどがあります。まだ多くの財務部門が、為替エクスポージャーを依然として手作業で管理しているのが実情です。

鍵を握るのは接続性

効果的なリスク低減において、財務担当者が自社の投資ポートフォリオ、ヘッジ、負債、キャッシュフロー予測を一元的に把握する必要があることは明らかです。「柔軟性のあるワークスペースでは、市場の動きや取引に関するリアルタイム情報、そして地政学的リスクが想定キャッシュフローに与える重要な影響といった要素を組み合わせることで把握できるものであるべきです」とShahは述べています。

しかし、多くの財務システムは、一定の精度でこれを実現できるものの、これらのさまざまな活動に伴うワークフローには、依然として多くの手作業が必要となります。その解決策となるのが、連携ワークフローの導入です。これによりレポート、電子取引、ヘッジ会計の自動化で、財務担当者による為替・金利・コモディティ全体のヘッジとリスク軽減が可能となります。

このタイプの連携ワークフローは、リアルタイム情報を集約するだけでなく、高度な予測、バリュエーション、リスクモデルを組み合わせ、より深い分析や判断材料を提供します。

Shahが指摘するように、財務担当者は通常、大半の状況に適用される規定のヘッジおよび資金調達ポリシーを有しています。「連携ワークフローは、これらのポリシーに基づいた合理的なヘッジや資金調達取引を直接提案し、財務担当者がそれを承認・実行できるようにするものです」

この「スマートトレジャリー」アプローチは、大量のリアルタイム財務データのノイズと影響を軽減し、財務担当者は例外的な事象への対応に注力することで、業務効率を高めます。さらに、ヘッジと資金調達に関する自動提案を行うシステムにより、手作業が大幅に削減され、財務担当者は戦略的な意思決定に集中する時間を確保できます。

当アプローチの鍵は、自社TMS/ERPシステムと統合された仕組みにあります。効果的な意思決定を行うには、財務担当者は投資ポートフォリオとヘッジをほぼリアルタイムで把握する必要があります。これはリターンに大きく影響する可能性があるため、特に資産運用会社や資産所有者、重要な投資ポートフォリオを保有する企業にとって重要だと、Shahは指摘します。

さらに、「保険会社や年金基金の負債予測やERPキャッシュフロー予測は、変動が比較的緩やかである一方、多くの場合、企業のバラ

ンスシートの大半を占めています。財務担当者のワークスペースがこれらのシステムから定期的なアップデートを得ることは非常に重要ですが、高頻度である必要はありません」と述べています。

予期せぬ市場の不安定化

もちろん、すべての業務が自動化に適しているわけではありません。Shahは全体的に見て、財務担当者は「地政学的リスク、貿易摩擦、予期しない介入などで、市場に想定外の不安定な動きが生じる可能性」について懸念を強めていると指摘しています。

特に、デンマークの一部の年金基金が最近行った米国債の売却について言及しています。デンマークの年金基金AkademikerPensionの投資ディレクター、Anders Schelde氏は書面で、同社が1億ドル（約150億円）の保有資産を売却する決定を下したのは「米国政府の財政状況の悪化を踏まえ、流動性とリスク管理の代替手段を見つける必要があると考えたからだ」と述べました。

その他の注目すべき動向としては、オランダの年金改革があります。これにより、28年の期限に向けて、年金基金は確定拠出モデルに移行しています。約5500億ユーロ（約1000兆円）の資産はすでに新しいモデルに移行しており、年金基金が投資戦略を修正する中、長期の金利ヘッジの多くが手仕舞いされています。

Shahは、このような状況をこう説明します。「為替と金利および債券市場において短期間に一方向に偏った大きな需要をもたらします。このような取引を実行して自社のバランスシートへの影響を抑えるには、スポット価格とフォワード価格、金利、そして特に重要な流動性について明確に把握する必要があります」

このため、これらの変化に適応するには、人とデータの知見を組み合わせることが必要であり、企業のバランスシートの健全性に責任を持つ者による意思決定が求められます。Shahはこう述べています。「企業として適切な成果を上げるには、財務担当者やその他の意思決定者が集約しやすいデータを活用できる環境を整え、ワークフローの摩擦を取り除くことが重要です」

バランスの維持

こうした背景を踏まえ、ブルームバーグは財務担当者が市場ボラティリティを分析して理解した上で対処できるよう、高度なソリューションを開発しました。Shahによると、ブルームバーグは、すべての変化に対応するのではなく、「重大かつ例外的な動き」に焦点を当てることで財務担当のお客さまがヘッジや流動性、資金調達のニーズに効率的に対処できるようにしています。

ブルームバーグが提供するサービスの価値は、2025年のAdam Smith Awards Asiaにおいて、マレーシアの民間医療企業IHH HealthcareがOverall Winner in the Judges' Choiceに選出されたことでも示されています。

世界最大級の民間医療企業の1社であるIHH Healthcareは、全体的な改革に向けた取り組みの一環として、ブルームバーグの為替集約基盤を採用することにより為替トレードとヘッジプロセスを合理化・自動化するとともに、注文の自動化、手作業の削減、オペレーショナルリスクの軽減を実現しました。この受賞プロジェクトでは、ブルームバーグのプラットフォームはIHHの財務管理システムKyribaともシームレスに統合されています。

「ブルームバーグは、流動性分析サマリーや市場データを、使いやすいツールとして提供しており、必要に応じて、詳細な分析も可能にしています」とShahは述べています。

さらにShahは、変動が激しい今日の世界市場では「明確さが新たな価値になっている」と述べ、「現代の財務機能は直感と分析のバランスの上に成り立っています。信頼性の高いデータと分析、リアルタイムの可視性を統合できる財務担当者は、断片化された、または手作業のシステムに依存する場合と比べてより高い成果を上げる可能性があります」と結論付けています。

IHH adopts corporate treasury tender platform to select TMS

Read how IHH simplified FX trading and hedging by adopting Bloomberg's FX aggregator solution.

[View case study](#)